

平成26年度 小田原市立曾我小学校防災マニュアル 保護者向け

1 東海地震注意情報及び東海地震予知情報発令の場合

市の防災無線・テレビ・ラジオ等で東海地震注意情報及び予知情報が流されます。
情報をつかみしだい、次のように行動してください。

児童が学校にいる場合

- ・児童は、地区別に**運動場**に集合しています。
- ・保護者は、徒歩で学校まで児童を迎えに来てください。(引き渡し)
- ・学校は、保護者または引き取り代理人が来るまで、児童を保護します。

児童が登下校中の場合

学校に近い場合

- ・児童は、学校まで戻ってください。
- ・保護者は、徒歩で学校まで児童を迎えに来て
ください。(引き渡し)

自宅に近い場合

- ・児童は、直ちに自宅へ向かってください。
- ・保護者は、徒歩で児童を迎えに行ってください。
- ・職員は、担当の地区へ向かい、児童に帰宅指導
をします。

児童が家にいる場合

- ・児童は、登校せずに家族と共に行動してください。

地震の場合の引き渡し場所

(運動場)

体育館の場合、ステージ側が下大井

校 舎						
下 大 井	鬼 柳	三 団 地	上 曾 我	曾 我 大 沢	山 岸 ・ 明 月	中 河 原

なかよしすべり台

2 震度5弱以上の地震の場合

児童が学校にいる場合

- ・児童は、地区別に**運動場**に集合しています。
- ・保護者は、徒歩で学校まで児童を迎えに来てください。(引き渡し)
- ・学校は、保護者または引き取り代理人が来るまで、児童を保護します。状況に応じて体育
館等で、児童を保護します。

児童が登下校中の場合

- ・児童は、その場の安全な場所に避難した後、学校・一時避難場所・自宅のうち、一番近い
ところへ移動してください。
- ・保護者は、学校や一時避難場所にいる児童を迎えに来てください。
- ・職員は、担当の地区へ向かい、安否確認をします。

児童が家にいる場合

- ・児童は登校せずに家族と共に行動してください。

児童が校外学習の場合

- ・引率の職員が臨機応変に対応します。

＜お知らせ＞曾我小学校は、広域避難場所・仮設救護所として指定されています。災害のため、被害を受ける恐れがある場合、または、被害を受けた場合、負傷した場合は、学校に来て
ください。学校には、防災倉庫・備蓄倉庫が備えられています。

非常時：学校への電話は控えてください。徒歩で引き取りに来てください。

3 風水害の場合

被害が大きく通常の下校が困難な場合

- ・学校は、緊急情報発信システムや地区連絡網で対応についてお知らせします。
- ・児童は、地区別に体育館に集合しています。
- ・保護者は、学校まで児童を迎えに来てください。（引き渡し）

被害が出ると予想される場合

- ・学校は、授業を途中で打ち切ります。
- ・保護者には、緊急情報発信システムや地区連絡網で対応についてお知らせします。
緊急情報発信システム登録については、すでに文書でお知らせしたとおりです。
- ・児童は、地区ごとに集団下校します。

津波の場合の避難場所

校舎 4階

図書室	5年教室	児童会室	6年教室
引き渡し場所	下大井	鬼柳 三団地 上曾我	曾我大沢 山岸明月 中河原

<引き渡しの方法について>

- 地区担当職員のチェックを必ず受けてから、児童を引き取り、帰宅してください。
- 保護者が引き取るのが原則です。やむをえない場合には、引き渡しカードに記載されている引き取り代理人が引き取ってください。
その場合、代理人は、保護者と連絡を取り合い、行き違いのないように努めてください。
- 児童は、引き取り人が来るまで学校で保護します。
- 引き渡し場所は、運動場（風水害の場合は体育館）の避難集合場所です。
- 学校では、引き渡しの訓練を目的とする避難訓練を、5月と9月に予定しています。そのほか、地震による火災等を想定した避難訓練を2～3回予定しています。

<家族で事前に話し合っておくこと>

- 非常時に備えて、日ごろからご家族で確認しあっておきたい事柄をあげました。
- 地震に備えて、どんな物を準備しておくか。
 - 家の中のどこが安全で、どこが危険か。
 - 地震が起きたとき、どのような行動をとったらよいか。
 - 家族がお互いにどうやって連絡をとりあうか。
 - 家族の役割や分担をどのようにするか。場所はどこにあり、そこに行くまでの経路はどうなっているか。
 - 外出時に地震にあう事も考え、日ごろから、どこに、誰と行き、何時に帰るかを家族に連絡する習慣をつけておく。
 - 家から学校までの通学路を実際に歩いて家族全員で確かめておく。

命を守るためのとっさの動作のとり方

（例） 頭を座布団などで保護し、テーブル等の下にもぐる。テーブルの足を握る。騒がない。あわてて外に飛び出さない。家の人の指示を静かに最後まで聞く。

「お・か・し・も」の約束で避難。

おさない
かけない
しゃべらない
もどらない